



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 ナカバヤシ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7987 URL <https://www.nakabayashi.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）中林 一良
問合せ先責任者 （役職名）取締役上席執行役員管理統括本部長 （氏名）長井 俊介 TEL 06-6943-5555
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	28,216	△3.2	1,019	127.6	1,206	106.1	229	△35.6
2025年3月期中間期	29,147	2.9	448	—	585	—	356	62.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △139百万円（－％） 2025年3月期中間期 201百万円（△34.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	8.34	—
2025年3月期中間期	12.97	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	54,135	28,918	53.2
2025年3月期	56,584	29,377	50.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 28,797百万円 2025年3月期 28,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2026年3月期	—	10.00			
2026年3月期（予想）			—	12.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	1.2	2,540	42.1	3,175	43.4	1,800	△9.8	65.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 寧波仲林文化用品有限公司
(注) 連結子会社の寧波仲林文化用品有限公司は、2025年6月3日をもって清算終了したため、連結の範囲から除いております。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	28,794,294株	2025年3月期	28,794,294株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,310,037株	2025年3月期	1,329,004株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	27,473,408株	2025年3月期中間期	27,449,446株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の堅調な推移、インバウンド効果の回復もあり緩やかな景気の回復が続いていく一方、米国の通商政策の影響、ウクライナや中東などの地政学リスクの高まりおよび為替変動による影響等により、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く状況は、ライフスタイルや企業活動が大きく変化したことに対応する必要があり、当社グループのパーパス「It's for SMILE」の理念に基づき、人生100年時代に相応しい価値ある商品とサービスの創出で企業価値向上に努めております。

このような中、当社グループは第4次中期経営計画(2024年4月1日～2027年3月31日)「Go on 5ing」(ゴー・オン・ゴーイング)を2024年5月に策定しました。本計画では「収益力の強化」「成長力の推進」「株主価値の向上」の3つの基本方針のもと、DXの推進、消費潮流の変化を捉えた製品サービスの創出、経営資源の最適配分に取り組むことで計画の達成を目指しております。特にDX推進においては、各セグメントの既存事業にデジタルを融合させることで新たな受注につなげるなど、具体的なシナジー効果が現れ始めています。

当社グループにおける当中間連結会計期間の売上高は282億16百万円となりました。前年度に引き続き採算性や利益率を考慮した受注を図るとともに、経費削減に努めたことや価格改定効果も寄与し、営業利益は10億19百万円、経常利益は12億6百万円となりました。また、特別利益は寧波仲林文化用品有限公司の清算終了による為替換算調整勘定取崩益1億74百万円など合計で2億11百万円を計上し、特別損失は木質バイオマス発電に係る固定資産の減損損失12億29百万円など合計で12億30百万円を計上いたしました。

この結果、親会社株主に帰属する中間純利益は2億29百万円となりました。

当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は下記のとおりであります。

売上高	282億16百万円	(前年同中間期比 3.2%減)
営業利益	10億19百万円	(前年同中間期比 127.6%増)
経常利益	12億6百万円	(前年同中間期比 106.1%増)
親会社株主に帰属する中間純利益	2億29百万円	(前年同中間期比 35.6%減)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ビジネスプロセスソリューション事業

BPOサービスにおいては、入札競争の激化により受注金額の減少が見られましたが、それを補う大型の案件や安定的な新規案件の受託により、全体として増益を確保しました。また、採算性を重視した案件の選別およびシステム開発の内製化が奏功し、収益性の向上に寄与しました。

手帳や封筒、一般印刷物については、DXと連携したクリエイティブ性の高い高粗利商材の新規受注が進み、増益を確保しました。

シール・ラベル関連では、医療向けを中心としたラベルの販売の増加に加え、価格改定・内製化・生産性向上等により利益率が改善し、好調を維持しております。

図書館ソリューションでは、図書館運営受託に加え、施設改修に伴う書架移動支援など専門性の高い案件の獲得が進み、売上・利益ともに増加しました。また、製本事業においては今後仕様の見直しを行い、効率化による生産コスト低減に取り組み利益率の拡大を図ってまいります。

卒業アルバム関連においては、前年度に実施した製造部門統合の成果が現れ原価率が改善しました。

この結果、当事業の売上高は138億6百万円(前年同中間期比4.4%減)、営業利益は3億65百万円(前年同中間期比16.8%増)となりました。

② コンシューマーコミュニケーション事業

製品販売においては、大口OEM受注の拡大に加え、防犯防災用品は特需の反動が落ち着いた一方、ECチャネルでの販売が堅調に推移しました。

ガジェット周辺用品では、価格改定・リニューアルにより、利益率が改善しました。

オフィス家具分野では、価格改定を行ったほか、大型テーマパークへの納入などもあり売上が拡大し、運送業者の構成を見直すことによる運送コストの削減の結果、利益も大幅に増加しました。また、施策による広告費の最適化により、新規顧客の獲得・リピート率・客単価の向上につなげてまいります。

EC関連は、サイト運営の効率化を通じて収益性が向上しました。ナカバヤシ製自社製品のEC展開も順調に成長しております。

ぬいぐるみビジネスにおいては、従来の香港・中国に加えて欧米・東南アジア・中近東への販路拡大を推進しております。

この結果、当事業の売上高は137億42百万円(前年同中間期比1.5%減)、営業利益は7億95百万円(前年同中間期比134.0%増)となりました。

③エネルギー事業

木質バイオマス発電は、木質チップの在庫状況を踏まえた出力調整を行いつつ稼働しております。太陽光発電は順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は6億1百万円(前年同中間期比16.2%減)、営業損失は50百万円(前年同中間期営業利益1百万円)となりました。

④その他

野菜プラント事業及びにんにくファーム事業等であり、当事業の売上高は66百万円(前年同中間期比47.8%増)、営業利益は22百万円(前年同中間期営業損失1百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15億73百万円減少し、282億16百万円となりました。これは商品及び製品が8億48百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が24億44百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8億76百万円減少し、259億18百万円となりました。これは建物及び構築物が5億62百万円、機械装置及び運搬具が4億98百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて24億49百万円減少し、541億35百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13億58百万円減少し、144億71百万円となりました。これは短期借入金が8億円、支払手形及び買掛金が6億82百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6億31百万円減少し、107億45百万円となりました。これは長期借入金が11億90百万円減少したことなどによります。

この結果、当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて19億89百万円減少し、252億16百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億59百万円減少し、289億18百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が3億13百万円増加しましたが、非支配株主持分が5億38百万円、為替換算調整勘定が1億92百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は53.2%となり、前連結会計年度末に比べて2.4ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,739	7,391
受取手形及び売掛金	10,306	7,862
商品及び製品	6,625	7,474
仕掛品	993	1,377
原材料及び貯蔵品	1,853	2,185
その他	2,271	1,926
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,789	28,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,086	6,524
機械装置及び運搬具(純額)	4,098	3,599
土地	9,196	9,091
建設仮勘定	138	22
その他(純額)	198	196
有形固定資産合計	20,719	19,434
無形固定資産		
その他	249	229
無形固定資産合計	249	229
投資その他の資産		
投資有価証券	3,081	3,539
退職給付に係る資産	1,653	1,690
繰延税金資産	298	259
その他	800	772
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	5,826	6,254
固定資産合計	26,795	25,918
資産合計	56,584	54,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,299	3,617
短期借入金	5,308	4,508
未払金	2,672	2,382
未払費用	417	414
未払法人税等	400	368
賞与引当金	669	732
その他	2,060	2,446
流動負債合計	15,829	14,471
固定負債		
長期借入金	8,270	7,079
退職給付に係る負債	2,784	2,725
繰延税金負債	50	318
その他	272	621
固定負債合計	11,377	10,745
負債合計	27,206	25,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,944	8,944
利益剰余金	12,068	11,968
自己株式	△676	△666
株主資本合計	27,003	26,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,067	1,381
繰延ヘッジ損益	△44	15
為替換算調整勘定	219	27
退職給付に係る調整累計額	472	460
その他の包括利益累計額合計	1,714	1,884
非支配株主持分	659	120
純資産合計	29,377	28,918
負債純資産合計	56,584	54,135

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	29,147	28,216
売上原価	21,791	20,644
売上総利益	7,355	7,572
販売費及び一般管理費	6,907	6,552
営業利益	448	1,019
営業外収益		
受取賃貸料	85	73
受取配当金	56	52
受取保険金	69	64
その他	91	88
営業外収益合計	302	278
営業外費用		
支払利息	43	50
貸与資産諸費用	19	20
為替差損	57	—
その他	43	21
営業外費用合計	165	92
経常利益	585	1,206
特別利益		
固定資産売却益	5	37
為替換算調整勘定取崩益	—	174
特別利益合計	5	211
特別損失		
固定資産処分損	0	1
減損損失	74	1,229
投資有価証券売却損	—	0
関係会社株式評価損	11	—
関係会社事業損失引当金繰入額	10	—
特別損失合計	97	1,230
税金等調整前中間純利益	493	187
法人税、住民税及び事業税	272	282
法人税等調整額	△128	215
法人税等合計	143	497
中間純利益又は中間純損失(△)	350	△309
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△5	△538
親会社株主に帰属する中間純利益	356	229

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	350	△309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	313
繰延ヘッジ損益	△118	59
為替換算調整勘定	100	△192
退職給付に係る調整額	△25	△11
その他の包括利益合計	△149	169
中間包括利益	201	△139
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	206	399
非支配株主に係る中間包括利益	△5	△538

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニ ケーション事業	エネルギー事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,434	13,949	717	29,102	44	29,147	—	29,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	996	146	—	1,143	4	1,147	△1,147	—
計	15,431	14,096	717	30,245	49	30,294	△1,147	29,147
セグメント利益又は損失(△)	313	340	1	654	△1	653	△205	448

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、野菜プラント事業及びにんにくファーム事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△205百万円には、セグメント間取引消去51百万円、棚卸資産の調整額8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△266百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニ ケーション 事業	エネルギー 事業	計			
減損損失	—	74	—	74	—	—	74

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニ ケーション事業	エネルギー事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,806	13,742	601	28,150	66	28,216	—	28,216
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	876	272	—	1,148	5	1,153	△1,153	—
計	14,682	14,015	601	29,298	71	29,369	△1,153	28,216
セグメント利益 又は損失(△)	365	795	△50	1,110	22	1,133	△113	1,019

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、野菜プラント事業及びにんにくファーム事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△113百万円には、セグメント間取引消去69百万円、棚卸資産の調整額9百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△192百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニ ケーション 事業	エネルギー 事業	計			
減損損失	—	—	1,229	1,229	—	—	1,229

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。